

人間福祉学部こども心理学科カリキュラム

学科目群は①基礎科目群、②教養科目群、③専門科目群、④総合科目群からなっている。

卒業するためには表1-1（2017年度生）・表1-2（2016年度生）のように単位を修得しなければならない。表1の単位数は卒業に必要な最低単位数である。

表1-1 こども心理学科 2017年度生用

学 科 目 群	卒 業 最 低 必 要 単 位 数						備 考
	必修	選択必修	選択	小計	自由選択	合計	
基礎科目群	基礎科目	6			14		* ¹ 留学生の語学科目履修方法はP. 299~305参照
	英語科目* ¹	4					
	第二外国語科目Ⅰ						
	(第二外国語科目Ⅱ)						
	スポーツ科目						
	キリスト教関連科目		4				
	キャリア教育科目						
その他							
教養科目群	人間理解への基盤を学ぶ		} 8 * ²	8	36	124	* ² 8 単位以上選択必修
	社会理解への基盤を学ぶ						
	自然理解への基盤を学ぶ						
専門科目群	共通基本科目	16	4	66			—実習科目は卒業単位の外
	心理学系	4	8				
	健康学系	26					
	環境・文化系	2	2				
	応用科目						
	演習科目		4				
実習科目							
総合科目群							
合 計	58	30	0	88	36	124	

117D

表1-2 こども心理学科 2016年度生用

学 科 目 群	卒 業 最 低 必 要 単 位 数						備 考
	必修	選択必修	選択	小計	自由選択	合計	
基礎科目群	基礎科目	6			14		*1留学生の語学科目履修方法は P. 299~305参照
	英語科目*1	4					
	第二外国語科目 I (第二外国語科目 II)						
	スポーツ科目						
	キリスト教関連科目		4				
	キャリア教育科目						
	その他						
教養科目群	A群		} 8 *2	8	24	124	*2他学科提供科目および D群の中から 8 単位以上 選択必修
	B群						
	C群						
	D群						
専門科目群	共通基本科目	18	6	78			—実習科目は卒業単位の外
	心理学系	12	8				
	健康学系	26					
	環境・文化系	2	2				
	応用科目						
	演習科目		4				
	実習科目						
総合科目群							
合 計	68	32	0	100	24	124	

116D

1. 用語の説明

卒業要件＝卒業するために必要な条件

必修＝当該科目の履修が卒業要件となっているもの。

選択必修＝いくつかの授業科目の中から一定単位履修することが卒業要件となっているもの。

選択＝卒業に必要な単位数として数えられるが、「必修」でも「選択必修」でもないもの。

開講期＝春：春学期に開講される科目

秋：秋学期に開講される科目

通年：1年を通じて開講される科目

集中：期間集中で開講される科目

○印：週1回授業

◎印：週2回授業

対象学年＝科目を履修することができる年次が記されている。1年次生では2年次以上に配当されている科目の履修はできない。2年次生以上は原則として1年次生配当の科目を履修することができる。

人数制限科目＝履修希望者が集中した科目について、人数制限をする。

ステップアップ＝ローマ数字が記載されている科目は、ステップアップ科目と呼び、Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳの順に履修しなければならない。

117D

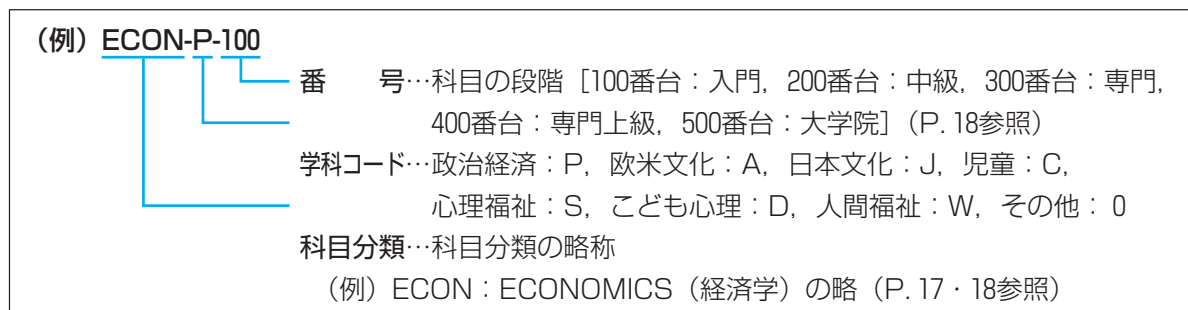
116D

2. 科目ナンバリング

本学では「**科目ナンバリング**」を導入している。

科目ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や履修順序、科目間の連携等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みのことで、学生が科目の水準や専門性に応じて、適切な授業科目を選択する際の助けとなる。

ナンバリングは「**科目分類（略称）**」、「**学科コード**」、「**段階を表す番号**」の組み合わせで表記される。



科目ナンバリングは、学生要覧カリキュラム表やシラバスに記載されている。

3. 各学期において履修できる上限単位数について

各学期において履修できる上限単位数は、**25単位**を上限とする。

ただし、認定科目は上限単位に含まれない。

4. 自由選択科目について

卒業に必要な最低単位数124単位から、基礎科目群の最低単位数14単位、教養科目群の最低単位数8単位および専門科目群の最低単位数(2017年度生は66単位、2016年度生は78単位)を除いた(2017年度生は36単位、2016年度生は24単位)は、基礎科目群、教養科目群、専門科目群、総合科目群および他学部・他学科の専門科目群のいずれから履修してもよい。

5. 科目によってはクラスが指定されているので、確認の上履修すること。